

福★島 キラリ

Fukushima ★ kirari Fukushima ★ kirari Fukushima ★ kirari Fukushima ★ kirari

「憧れ」を絵画に込めて 浪江出身画家の挑戦



日本画家

舛田 玲香さん

大学卒業後は、パプアニューギニアやオーストラリアなどにボランティアをしながら滞在。思い描いた風景が実在することに感動し、ますます魅了されたそうです。当時の舛田さんは浪江町の実家が被災し、描きたためいた作品はすべて津波で流失。

鮮やかに咲き誇る花々、熱帯の植物、愛らしい動物たち。日本画家・舛田玲香さんの描く世界は、色彩豊かでポジティブなエネルギーに溢れています。

「海辺で生まれ育つたせいか、子どものころから外國に興味がありました。大学で絵を学んでいたときに、自分の想像する遠い国の風景を表現してみようと思ったのが、現在の作風のきっかけ。日本画と言えど古典的なものにとらわれず、思うままに描いています」

舛田玲香さん

子どもたちが大切に育ててくれた三春滝桜の苗木を植樹し、改めて未来を担う子どもたちに豊かな森林を引き継いでいかなければならぬと思いました。

来春、48年ぶりに本県で開催される全国植樹祭。その一年前イベントの様子をお伝えします。

知事だより

知事の活動を伝えるコーナー！

vol.2

全国植樹祭 一年前記念イベント
(伊達市)

満開の桜を見るのが今から楽しみです



▲ 真っ赤なポピーは好きなモチーフのひとつ



▲ パプアニューギニアのマヌス島で、現地の子どもたちに折り紙を教える舛田さん



▲ 切るたびに断面の模様が変わるユニークな羊羹

舛田さんの思いは作品を通して、日本、そして世界へと羽ばたいています。

「福島県は心健やかに創作ができる場所。暗いニュースが多いですが、絵などを通して、明るいニュースを発信していきたいです」

会津若松市の老舗和菓子店。1羽の鳥が月に向かつて飛んでいくモチーフから生まれた「Fly Me to The Moon 羊羹ファンタジア」は、舛田さんの描く世界と相まって、発売直後から女性を中心に大人気に。これをきっかけに、新たなオフラーも舞い込むようになりました。

創作意欲も湧かない時期でした。しかし、子どものころから憧れていた海外を訪れ「未来を絶たれた人がたくさんいる中、生きている自分はできることをやるべきだ」との思いを強くしたと言います。

外から見た福島のイトコロ教えてます
ふくしま
二重マル

ふじたあきみ
藤田旭美さん
(埼玉県出身)

国外や県外出身の人から見た福島を知るコーナー。
第二回は、三島町役場産業建設課で桐専門員として活動する藤田さんです。

人と自然が元気な奥会津が大好き!

私が住んでいる三島町には、今も自然と密着した暮らしの知恵が息づいています。山の恵みも豊富で、休日はわらびの塩漬けなどの保存食作りや、山歩きに出かけたりして楽しんでいます。埼玉からここに来て、季節の変化をより敏感に感じるようになりました。

今後は、昨年認定された「福島県もりの案内人」の一人として、奥会津の貴重な自然を多くの人に伝えていくことが目標です。



桐がまっすぐ育つよう、芽かき(剪定)の作業中